

環境省「令和4年度 mottECO（モッテコ）導入モデル事業」 「mottECO」のパートナーシップによる普及推進事業

mottECO普及推進コンソーシアム

セブン＆アイ・フードシステムズ、ロイヤルホールディングス、SRSホールディングス、日本ホテル



Hospitality Restaurant
Royal Host



THE TOKYO STATION
HOTEL
mΘsm
TOKYO
METROPOLITAN
HOTELS
JR-EAST



事業の概要

「食品ロス削減」という大きな社会課題に対し、飲食事業者がmottECO導入と拡大を通じ、競合関係を越えたパートナーシップで取り組み、その解決を図る。

食品廃棄物排出事業者である、株式会社セブン&アイ・フードシステムズ、ロイヤルホールディングス株式会社、SRSホールディングス株式会社、日本ホテル株式会社が共同の推進主体として、

「 mottECO普及推進コンソーシアム 」

を立ち上げ、それぞれの運営する飲食チェーン「デニーズ」「ロイヤルホスト」「和食さと」及びホテル「東京ステーションホテル」「メズム東京 オートグラフコレクション」「メトロポリタンホテルズ」において実証を行う。

事業の骨子

事業は以下の4つを柱として実施する。

1. 業種業態を超えたアライアンスによるmottECO実践店舗の拡大
2. 将来の中小・個人飲食店参加を見据え、容器等ツールの共同調達スキームの構築と容器の有料化の検討
3. 食品ロス削減と、同じく社会課題である脱プラスチックを両立させるため、FSC認証素材の食べ残し持ち帰り容器の実験を継続実施。また、より使用量の多い宅配やテイクアウト容器への応用の研究。
4. mottECO推進事業者ならでの、実践経験とデータに基づいた啓発活動

配布用注意喚起チラシ：専用容器そのものによる自己責任の啓発

食品ロス削減にご協力いただきありがとうございます。

お持ち帰りの際の注意点

お客様の責任でお持ち帰りください。
容器への移し替えはご自身でお願いします。



※匂いや味に異変を感じた場合は召し上がらないでください。

帰宅後できるだけ速やかに
お召し上がりください。



生もの、傷みやすいものは
お持ち帰りいただけません。



ミスूप・ドリンク類の持ち帰りはご遠慮ください。

暑い時期や長時間の
持ち運びはご遠慮ください。



十分に再加熱してから
お召し上がりください。

消費者庁、農林水産省、環境省、厚生労働省「飲食店等における」



この取り組みは「令和四年度mottECO
環境省より採択され、4社6ブランド

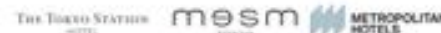


こんにちは！mottECO(モッテコ)です
環境省では「飲食店での食べ残しの持ち帰り」のこと
を「mottECO(モッテコ)」と名付けました。
「mottECO」は、「もっとエコ」と「持って帰ろう」
というメッセージがこめられています。

アンケートご協力をお願いします



この取り組みは「令和四年度mottECO導入モデル事業」として
環境省より採択され、4社6ブランドで展開しております。
食べきれなかったお料理をお持ちかえりいただいたお客様に
Webアンケートへのご協力をお願いいたしております。



SDG(持続可能な開発目標)を支援しています。

環境省 令和四年度mottECO導入モデル事業 参加店舗

参加企業 取り組み例

・セブン&アイ・フードシステムズ（デニース）



ポスター以外にテーブル設置媒体や、
アプリ（右）等でも告知

・SRSホールディングス（和食さと）



タブレットホーム画面（右）からmottECOに入れる設計

容器有料と注意点が明記されている

mottECO普及推進コンソーシアム

・ロイヤルホールディングス（ロイヤルホスト）



メニューブック上にmottECO表記

・日本ホテル（ホテルメトロポリタン）



中村統括名誉総料理長による講演でmottECOについて説明

事業開始にあたっての目標設定

コンソーシアム数値目標

- ・mottECO実施店舗を昨年から倍増させる
昨年126店舗 → 年度末250店舗
- ・教育機関、自治体等の組織、業界団体等で、食品ロス削減・mottECOに関する講義、研修、寄稿、展示等、実態のある啓発発信の取り組みを実施する
年間 20件 参加人数 1,000名

参加企業別計画（年度当初）

- ・デニーズ 東京都内100店舗から随時拡大（年度内倍増：200店舗以上に拡大）
 - ・店舗拡大に合わせて容器有料化実施（既存店も同時に変更）
- ・ロイヤルホスト 昨年実施26店舗に加え、実施店舗拡大
 - ・夏期メニュー改定時、全店で拡大を視野に社内調整
- ・和食さと 6月よりテスト実施（開始より容器有料）検証後8月31日より関西圏120店舗まで拡大
 - ・11月30日より全店への拡大を予定（年度内200店舗以上に拡大予定）
- ・日本ホテル 「東京ステーションホテル」「メズム東京、オートグラフ コレクション」「メトロポリタンホテルズ」
 - ・6/1～9/15 夏期は計画的に休止

事業の成果①（定数面：実施店舗数）

・実施店舗拡大

年度当初目標：mottECO実施店舗を昨年から倍増させる（昨年126店舗→年度末250店舗）

10/31現在

⇒ 4社打合せを進め：4社 450店舗で実施中（当初計画比 180%）



10/31現在 100店

221店

120店

9店

年度末計画 320店

221店

200店

9店

⇒ 既に当初目標達成のため、年度末目標を 750店舗に上方修正

事業の成果②（定数面：利用実績）

mottECO利用状況

（コンソーシアムとしての事業期間：2022年6月～10月実績を算定基礎）

※全店実施想定 / 年換算

ブランド名	店舗数	利用(t/年)	※事業実施前後の店舗数合わせ	
			事業前(t/年)	廃棄物削減効果(t/年)
デニーズ	: 320 (0.8件/日/店)	28.0	7.0	21.0
ロイヤルホスト	: 221 (0.6件/日/店)	14.5	7.3	7.2
和食さと	: 200 (0.2件/日/店)	4.5	1.5	3.0
日本ホテル	: 9 (0.3/件日/店)	0.2	0.0	0.2
	750	47.2	15.8	31.4

通年（日本ホテルのみ 6/1-9/15 休止で計算）、コンソーシアム全店で実施した場合
 4社だけで、47t 以上の食べ残し持ち帰り＝食品廃棄物削減
 事業開始前との比較で、31.4t の廃棄物削減効果 = **事業の成果**

事業の成果③（定数面：有料化店舗と啓発事業）

mottECO普及推進コンソーシアム

・容器有料化テスト

- 和食さと : スタート時より有料で実施@50円(税込55円)
- デニーズ : 12月店舗拡大に合わせ @28円(税込30円)で実施予定
- 日本ホテル : 無料提供
- ロイヤルホスト : 有料化については検討課題と認識

・啓発事業

年度当初目標：年間 20件 参加人数 1,000名

SDGsオンラインフェスタ、日本ホテルSDGsセミナー（系列ホテル巡回開催上期）、福岡女学院中学校「探求の授業」登壇、JRホテルグループ総会プレゼン、専修大学商学部講義、食ロス対策有識者会議発表、そごう・西武CSV推進部プレゼン、大阪府NPODEepPeopleプレゼン、日本百貨店協会WG登壇、千代田食品衛生協会研修、都立忍岡高等学校講義等々
（10/31現在 23回 2,037名 実施済み 年度末までに +6回 +360名 開催予定
⇒ 年度末合計 **29回 2,397名 実施見込み**）

※日本百貨店協会でも実施など、啓発事業による波及効果あり